

# 大正・昭和の音とデザイン

## —関西と名古屋のレコード産業—

2024年6月2日(日) 13:00～

京都市立芸術大学 伝音セミナールーム

SPレコードの魅力のひとつに、レコード袋(スリーブ)があります。各社が趣向を凝らしたデザインは視覚的に楽しめるだけでなく、宣伝媒体としての役割も担っていたようです。本講座では音とデザインをとおして、関西・名古屋を拠点としたレコード会社の特徴について考えます。

### 《プログラム》

#### I. 資料紹介とスリーブ研究の魅力

大久保真利子 (九州大学総合研究博物館 専門研究員)

#### II. 関西と名古屋のレーベルに見るSPレコードのスリーブデザイン

京谷啓徳 (学習院大学文学部 教授)

#### III. 大正期のスリーブの中味を聴く

大西秀紀 (京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 客員研究員)

#### IV. 音で聴く地域レーベルの商法

毛利真人 (京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 客員研究員・音楽評論家)

参加費 | 無料・要事前申込

参加定員 | 50名

参加方法 | 右記QRコードより専用フォームにて先着受付

受付期間 | 5月30日(木)まで ※定員にて締切とさせていただきます。



主催 | 歴史的音源所蔵機関ネットワーク(レキレコ) 共催 | 東洋音楽学会西日本支部

後援 |



サントリー文化財団  
SUNTORY FOUNDATION

〈お問合せ先〉

歴史的音源所蔵機関ネットワーク事務局

rekireco@gmail.com

